

## 箕面市民温水プール整備運営事業者選定会議議事概要

### 1. 会議の開催状況

- (1) 開催日時：令和7年（2025年）4月18日（金）午前9時から12時30分
- (2) 開催場所：箕面市役所 別館5階会議室C
- (3) 出席者：浅井 文彦（子ども未来創造局（生涯学習）担当部長） 【会長】  
藪本 正博（子ども未来創造局長） 【副会長】  
西田 昭浩（みどりまちづくり部担当副部長）  
北詰 恵一（関西大学 環境都市工学部教授）  
田島 良輝（大阪経済大学 人間科学部教授）  
金子 真也（金子会計事務所 公認会計士・税理士）
- (4) 事務局：子ども未来創造局保健スポーツ室
- (5) 応募者：1. 株式会社関西テレビライフ  
2. 応募者グループA  
3. 応募者グループB

### 2. 議事概要

- (1) 当日スケジュール及び評価等について事務局より下記のとおり説明を行った。

#### <当日スケジュール>

- 1. 応募者1 プレゼンテーション（20分）、ヒアリング（20分）、採点
- 2. 応募者2 プレゼンテーション（20分）、ヒアリング（20分）、採点
- 3. 応募者3 プレゼンテーション（20分）、ヒアリング（20分）、採点
- 4. 講評・全体集計
- 5. 合議による選定

#### <採点方法>

応募書類及びプレゼンテーション、ヒアリングの内容を踏まえ、箕面市民温水プール整備運営事業者選定基準に基づき、以下のとおり採点する。

- ・提案金額に関する評価 A 100点
- ・DB0事業者に関する評価 B 200点（定量：100点、定性100点）
- ・維持管理運営事業者に関する評価 C 200点（定量：100点、定性100点）

- (2) 応募者の提案内容プレゼンテーションについて

応募者である「株式会社関西テレビライフ」「応募者グループA」「応募者グループB」の各グループよりプレゼンテーション（提案内容の説明）が行われた。

- (3) ヒアリングにおける質疑について

主な質疑については以下のとおり。

**【株式会社関西テレビライフ】**

（質問）計画地の地盤はどのように評価しているか。またどのような考え方で建物支持方法を選定したか。

（回答）公募資料の地盤情報を計画建物配置と照合すると近い距離で支持層が異なる状況が懸念される。よって着工時には追加で調査したい考えた。また施工時、想定以上の支持層の深さが認められた場合も臨機に対処できるので、柱状改良を選択した。

（質問）DBO 事業者協業であるからこそ取り組むことができる事項につき、具体例や効果としてどういったものがあるか。

（回答）複数の協業実績を背景として、ジェンダーレス等の課題が生じれば、都度設計変更等の対応ができる利点がある。着工後にも、地域の声を聞きながら一体となって、施設整備・運営での連携を実現できる。

（質問）利用料金収入で見込まれる利用者数はどのような根拠で見込んだものか。また、自主事業の提案に関し、どのような利用者層をターゲットに想定したのか。将来的に小学生ボリュームの推移をどう捉えているかなど、マーケット感はどのような認識か。

（回答）箕面市を含む北摂エリアは水泳のニーズが高いこと、箕面市は小学生の体力向上手段として水泳に力を入れていること、などから利用者数が伸長するものと捉えている。

（質問）少子化傾向は一般的な人口推移だが、指定管理期間中、初年度の小学生数のまま推移する予測は、どういう考えに基づくものか。

（回答）箕面市は市として子育てに力を入れている行政であり、開発により人口増加も望める。よって箕面市において将来的に子どもの数が急激に減少することは考えにくい。こうした観点で判断した。

（質問）小学生は高学年・低学年で体格が異なるので水深を変えて授業している。水深変更はどのように対応する考えか。

（回答）踏み台を敷くことで水深変更に対応する。プール全面の敷きこみに要する時間は10分に対応する。

（質問）入水スロープ勾配 1/10 はどのような考えによるものか。一般的な 1/12 勾配を採用しなかった理由は。

（回答）他自治体の市民プールにおいて 1/10 勾配の採用例が複数認められたことから採用した。ご指摘にある 1/12 勾配の計画変更も可能なので協議を踏まえ対応する。

(質問) 小学校の水泳授業の受け皿という面もあるが、幅広い市民利用も目的としている。また、介護予防事業などを担っていただくこともありえるが、そういったノウハウなどあるか。

(回答) 弊社が運営しているフィットネス施設等において、様々な高齢者向けプログラムを実施している。日々の利用者対応等も含め、介護予防事業などを担うための多くのノウハウが蓄積されていると考えている。施設整備面についてもバリアフリーなど確実に対応する。

(質問) 小学校の水泳授業受託の実績はあるか。

(回答) 箕面自由学園や西南小学校の水泳授業の実績はある。授業プログラムに関しては、先生と打合せをして決めていっている。箕面市以外でも実績はある。

(質問) 障がいのある子どもも学校児童にはいるが、対応は問題ないか。

(回答) 車椅子利用者の入水も折り込んだスロープ設置を考えている。

#### **【応募者グループA】**

(質問) 計画地の地盤はどのように評価しているか。またどのような考え方で建物支持方法を選定したか。

(回答) 地盤改良を行い、支持層まで杭支持する計画。杭種類など詳細はこれからの検討事項となる。

(質問) DB0 事業者協業であるからこそ取り組むことができる事項につき、具体例や効果としてどういったものがあるか。

(回答) 利用者にとって安全で運営上メンテナンス性の高い施設することが基本的な考え方だ。DB0 事業者協業としてそのような施設整備の実績がある。

(質問) 納付金に関する考え方は。

(回答) 今回は不要となる家賃等の資金を考えると高い納付金ではなく、収益、自主事業などを勘案して実現可能なものとして算定した。

(質問) 収益面に關し、箕面市内で類似用途施設を運営していることにより利用者ターゲットがかぶる懸念などはないか。

(回答) エリアが異なるので施設利用者はかぶらないものと見込んでいる。

(質問) 学校授業の受託実績を多数有すものと承知しているが、学校教師との事前打ち合わせなど、いつごろからどのような連携をとっているか。

(回答) 授業受入れ前に5回程度やりとりする。学校教師へのヒアリングを踏まえ、カリキュ

ラム案を提出してすり合わせる。

(質問) 学校授業の受託を通じて見えてきた課題はあるか。

(回答) 授業にもう少し遊びを交えて楽しみながら実践するべきという課題がある。受託者側でもある程度小学生の評価を行うことの必要性も見えてきている。

(質問) プール水槽の材質に関し、どのように想定しているか。

(回答) ステンレス製とする予定。コンクリート製は施工時間や成型後の自由度の面で劣るとの考えから見合わせた。

(質問) 学校授業で水深変更はどのように対処する考えか。

(回答) 2 コースに対しプールマットで水深変更を図る。2 コースで不足する場合は範囲を広げて対応する。水深の変わる部分の安全面は監視員によりしっかり対応する。

(質問) 高齢者の介護予防への対応にノウハウはあるか。

(回答) デイケアサービス対応も実績があり、問題なく受入れできる。

(質問) 市民利用での障がい者対応にノウハウはあるか。

(回答) ノウハウはある。無料のキャップを被ってもらい安全面についても対処している。

(質問) 指定管理期間満了前の引継ぎ期間はどのような考え方で設定したものか。

(回答) 雇用者とのやりとり調整期間などを鑑みて設定する考え。1 年程度あれば良いと考えるが、次の指定管理者の指定が 12 月となる場合が多いので、実際的には市との協議もしながら設定することとしたい。

#### **【応募者グループB】**

(質問) 計画地の地盤はどのように評価しているか。またどのような考え方で建物支持方法を選定したか。

(回答) 公募資料の地盤情報をもとに、杭メーカーに検討を求め、複数の方法からしっかりと上部建物を支持できることをもって、杭基礎を選択した。

(質問) DB0 事業者協業であるからこそ取り組むことができる事項につき、具体例や効果としてどういったものがあるか。

(回答) バス停からスムーズに館に入れるような設計にしたことや、更衣室からプールスペースへの往来がスムーズに行えるよう計画に反映できたこと、幼児用プール利用の安全面に関し図面に盛り込めたことなどがある。

(質問) 自主事業に関し利用者見込みなど、どのような見通しか。

(回答) 市内の自社施設利用者数を踏まえ想定したものであり、船場地区の人口増や事業計画地のエリア特性から試算した。

(質問) 人件費や光熱費が上昇傾向にある。人件費に関しどのように見通しているか。

(回答) 社会情勢に応じた人件費上昇は考えられるものの、現時点で見通しを立てることが困難だったため、現状の金額を計上した。

(質問) 学校授業の受託を通じて見えてきた課題はあるか。

(回答) 更衣室が狭く児童の滞留が生じており、これを解消できる動線計画を検討し、図面提案に反映した。

(質問) プール水槽の材質に関し、どのように想定しているか。

(回答) ステンレス製を想定している。FRP は生産中止となり選択肢とできなかった。コンクリート製にすると仕上げタイルの破損等補修となると、学校授業への悪影響も想定され選択しない考えだ。

(質問) 動画や録画等により教育できるツール導入により、教育面でどのような効果があったか。

(回答) 実際に動画で見ることで、できているつもりでもできていなかったことの気づきになる。また、児童が見本映像で予習学習等できる等の効果を確認している。

#### (4) プレゼンテーション・ヒアリングを終えての評価点数

|                     |           |             |
|---------------------|-----------|-------------|
| 【応募者1：株式会社関西テレビライフ】 | 構成員平均評価点数 | 363 点／500 点 |
| 【応募者2：応募者グループA】     | 構成員平均評価点数 | 358 点／500 点 |
| 【応募者3：応募者グループB】     | 構成員平均評価点数 | 286 点／500 点 |

#### (5) 選定会議としての結論

上記に基づき判断した結果、株式会社関西テレビライフが箕面市民温水プール整備運営事業者として適任である。